

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院で
診療を受けられる患者さんへ
～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	Radixact X9 [®] の動体追尾呼吸同期システム Synchrony [®] および放射線計画装置 Raystation [®] に関する放射線治療計画研究		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2024年 3月		
研究実施診療科	放射線科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2020年6月8日	
	院長が研究実施を許可した日	2020年6月9日	
対象となる方	対象期間内に、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院放射線科において、放射線治療を受けた方		
対象期間	(西暦) 2006年 4月 ～ (西暦) 2022年 3月		
研究責任者	所属	放射線科	氏名 杉江愛生
研究の意義	当院に新規導入されたトモセラピーシリーズ最新機種 Radixact X9 [®] に装備されている国内初の機能である動体追尾呼吸同期システム Synchrony [®] と、放射線治療計画装置 Raystation [®] に搭載している最新機能を用いることにより、より優れた放射線治療計画をより効率的に作成することが可能となる見込みである。それらの最新機能につき対象の方の放射線治療計画・画像データを用いて評価する。		
研究の目的	Synchrony [®] および Raystation [®] を用いることによる、放射線の線量分布の改善や、効率性の向上につき評価する。		
研究の方法	対象となる方の放射線治療計画・画像データを使用して Synchrony [®] や Raystation [®] を用いた仮想放射線治療計画を立案し、その放射線線量分布を評価する。		
研究に使用するもの	放射線治療装置から得られる情報を、匿名化した上で使用します。(年齢、体重、性別等の基本情報、放射線治療の情報等)		
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。		
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・		

	管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途倫理審査を受け、承認を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 放射線科 杉江 愛生 電話 052-832-1121 (代表)